

【バイオテック情報普及会2017年実施】遺伝子組換え食品に関する消費者調査

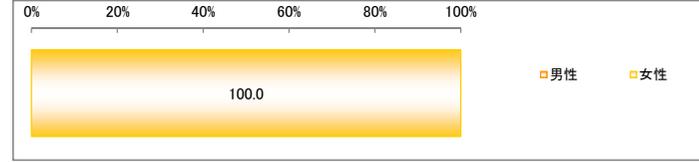
設問タイプ	質問番号	設問文
SA	SC1	あなたの性別をお答えください。
数	SC2	あなたの年齢をお答えください。(半角数字でご記入ください)
MA	SC3	ご自身、及び同居のご家族のお勤め先の業種について、あてはまるものをお答えください。(いくつでも)
SA	SC4	あなたの未婚の状況をお答えください。
SA	SC5	あなたのご職業をお答えください。
MA	SC6	あなたにはお子様(同居)がいらっしゃいますか。あてはまるものをお答えください。(いくつでも)※お子様が複数の場合でも人数は関係ありません。例:小学生2人→「小学生の子供がいる」にチェック
SA	Q1	あなたの同居している家族の構成として最もあてはまるものをお選びください。
数	Q2	同居されているご家族の人数(あなたを含めて)をお答えください。(半角数字でご記入ください)
SA	Q3	あなたの世帯の税込み年収をお答えください。
SA	Q4	あなたのお宅で、主に食料品を購入するのはあなたご自身ですか。
MA	Q5	では、下記の中から、最近、食料品を購入する際に、関心のあることを全てお選びください。(いくつでも)
SA	Q6	そのうちで、最も関心のあることはどれですか。1つだけをお選びください。
MA	Q7	目にしたことがある遺伝子組換えの食品表示(ラベル)をお答えください。(いくつでも)
SA	Q8	「遺伝子組換えでない」という表示をどのように理解していますか。
SA	Q9	「遺伝子組換えでない」という表示をどの程度選ぶ基準にしていますか。
MA	Q10	「遺伝子組換えでない」と表示されている商品について、なにも記載のないものに比べて、どのように理解していますか。(いくつでも)
MA	Q11	あなたが初めて知った遺伝子組換え食品の表示ルールは何ですか。※この設問は「30秒以上」経過しないと次に進めません。※「画像を拡大」をクリックしていただくと拡大してご覧いただけます。
SA	Q12	遺伝子組換え食品に関する表示ルールを、わかりやすいと思いますか。
SA	Q13	「遺伝子組換えでない」という表示は、企業と消費者どちらの利益に貢献すると思いますか。
SA	Q14	現在の「遺伝子組換えでない」という表示について、あなたの考えに近いものは何ですか。
SA	Q15	あなたは「遺伝子組換え食品」をご存知ですか。
SA	Q16	あなたは、遺伝子組換え食品や、遺伝子組換え原料の含まれる食品を購入したり食べたことがありますか。
SA	Q17	あなたは「遺伝子組換え食品」にどの程度関心がありますか。
SA	Q18	あなたご自身は現在「遺伝子組換え食品」についてどのようなイメージを持っていますか。先の設問で「全く知らない」と答えた方は、「遺伝子組換え食品」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか。
MA	Q18S1	Q18-1. ■前問で「良いイメージを持っている」「どちらかといえば良いイメージを持っている」とお答えの方にお伺いします ■そうしたイメージを持つようになった理由はどのようなことですか。以下より該当するものをお選びください。(いくつでも)
MA	Q18S2	Q18-2. ■前問で「特に何のイメージも持っていない」とお答えの方にお伺いします ■何のイメージも持っていない理由はどのようなことですか。以下より該当するものをお選びください。(いくつでも)
MA	Q18S3	Q18-3. ■前問で「どちらかといえば怖い・悪いイメージを持っている」「怖い・悪いイメージを持っている」とお答えの方にお伺いします ■そうしたイメージを持つようになった理由はどのようなことですか。以下より該当するものをお選びください。(いくつでも)
MA	Q19	「遺伝子組換え食品」について、そのようなイメージを持つ要因になった情報源は何ですか。情報の入手先(誰から、何から、どこから知ったか)について該当するものをお選びください。(いくつでも)
SA	Q20	「遺伝子組換え食品」がスーパー等で販売されていたら、買って利用してみたいと思いますか。
SA	Q21	現在、あなたは「遺伝子組換え食品」を必要なものだと思いますか。
SA	Q22	上記にあげたような遺伝子組換え食品の「特徴」を知った上で、再度お伺いします。あなたはこれらの「遺伝子組換え食品」の「特徴」をご存知でしたか。※この設問は「30秒以上」経過しないと次に進めません。
MA	Q22S1	Q22-1. 説明文中の(1)～(16)のうち、知って(見聞きして)いた情報はどれですか。(いくつでも)※この中に入らない方は、選択肢「この中にはない」をお選びください。
SA	Q23	これらの特徴を知って、あなたの「遺伝子組換え食品」に対するイメージやお考えは変化しましたか。
MA	Q23S1	Q23-1. イメージが良くなるきっかけとなった情報はどれですか。(いくつでも)※この中に入らない方は、選択肢「この中にはない」をお選びください。
MA	Q23S2	Q23-2. イメージが悪くなるきっかけとなった情報はどれですか。(いくつでも)※この中に入らない方は、選択肢「この中にはない」をお選びください。
SA	Q24	これらの特徴を知って、「遺伝子組換え食品」がスーパー等で販売されていたら、買って利用してみたいと思いますか。
MA	Q25	では、どのような遺伝子組換え食品であれば、買って利用してみたいと思いますか。(いくつでも)
SA	Q25S1	Q25-1. 前問で選択した食品のうち、最も買って利用してみたいと思う遺伝子組換え食品を1つお答えください。
SA	Q26	これらの特徴を知って、あなたは「遺伝子組換え食品」は必要なものだと思いますか。
SA	Q27	あなたは「遺伝子組換え食品」についての情報は今後も必要だと思いますか。
MA	Q28	では、「遺伝子組換え食品」の情報に関して、あなたにとって信頼性の高い情報発信元はどこ(誰)ですか。(いくつでも)
SA	Q29	あなたは、今後日本でも、農業や経済に貢献するような「遺伝子組換え作物」の開発が必要だと思いますか。※この設問は「30秒以上」経過しないと次に進めません。
SA	SEG	割付
SA	FLAG1	未婚
SA	FLAG2	職種
SA	FLAG3	子供
SA	SEX	性別
数	AGE	年齢
SA	CHIKI	都道府県
SA	BD1	遺伝子組換え食品のイメージ

■単純集計表(n%表)

SC1.あなたの性別をお答えください。

SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 男性	0	0.0
2 女性	2000	100.0



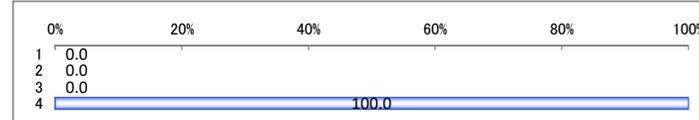
SC2.あなたの年齢をお答えください。(半角数字でご記入ください)

	n	平均値	最小値	最大値
全体	2000	39.99	20.00	59.00

SC3.ご自身、及び同居のご家族のお勤め先の業種について、あてはまるものをお答えください。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	2000	100.0
1 マスコミ関連業	0	0.0
2 調査会社・広告代理店・マーケティング関連業	0	0.0
3 食品関連業	0	0.0
4 上記にあてはまるものはいない	2000	100.0

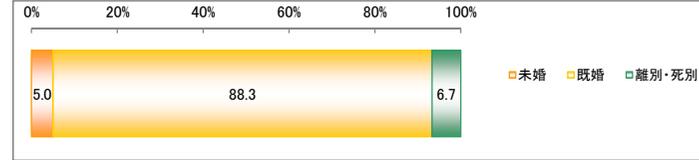


■はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。

SC4.あなたの未婚の状況をお教えてください。

SA

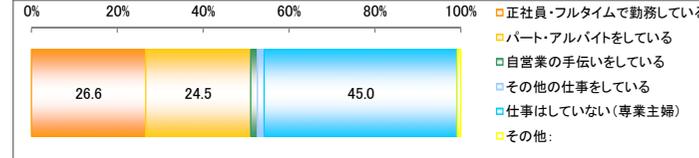
	n	%
全体	2000	100.0
1 未婚	100	5.0
2 既婚	1766	88.3
3 離別・死別	134	6.7



SC5.あなたのご職業をお教えてください。

SA

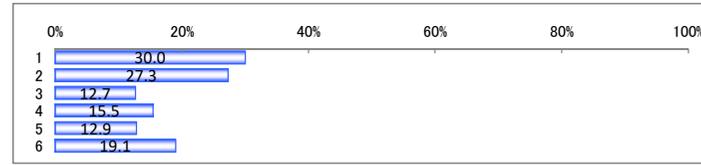
	n	%
全体	2000	100.0
1 正社員・フルタイムで勤務している	532	26.6
2 パート・アルバイトをしている	489	24.5
3 自営業の手伝いをしている	32	1.6
4 その他の仕事をしている	31	1.6
5 仕事はしていない(専業主婦)	900	45.0
6 その他:	16	0.8



■単純集計表(n%表)

SC6 あなたにはお子様(同居)がいらっしゃいますか。あてはまるものをお答えください。(いくつでも)※お子様が複数の場合でも人数は関係ありません。例:小学生2人→「小学生の子供がいる」にチェック
MA

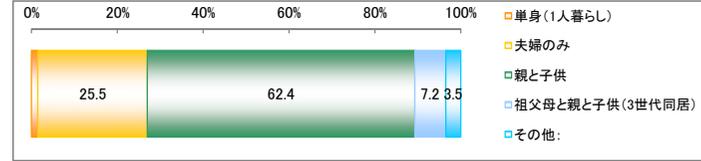
	n	%
全体	2000	100.0
1 子供はいない/子供と同居していない	600	30.0
2 幼稚園未満の子供がいる	546	27.3
3 幼稚園～小学生未満の子供がいる	254	12.7
4 小学生の子供がいる	309	15.5
5 中学・高校生の子供がいる	257	12.9
6 18歳(高校卒業)以上の同居している子供がいる	381	19.1



Q1.あなたの同居している家族の構成として最もあてはまるものをお選びください。

SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 単身(1人暮らし)	30	1.5
2 夫婦のみ	509	25.5
3 親と子供	1247	62.4
4 祖父母と親と子供(3世代同居)	144	7.2
5 その他:	70	3.5



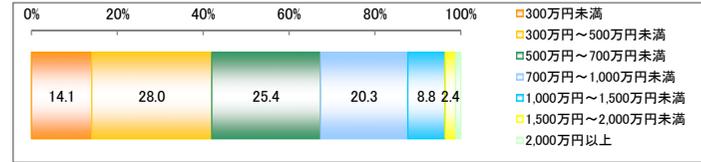
Q2.同居されているご家族の人数(あなたを含めて)をお答えください。(半角数字でご記入ください)

	n	平均値	最小値	最大値
人	2000	3.17	1.00	9.00

Q3.あなたの世帯の税込み年収をお答えください。

SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 300万円未満	281	14.1
2 300万円～500万円未満	559	28.0
3 500万円～700万円未満	507	25.4
4 700万円～1,000万円未満	406	20.3
5 1,000万円～1,500万円未満	175	8.8
6 1,500万円～2,000万円未満	48	2.4
7 2,000万円以上	24	1.2

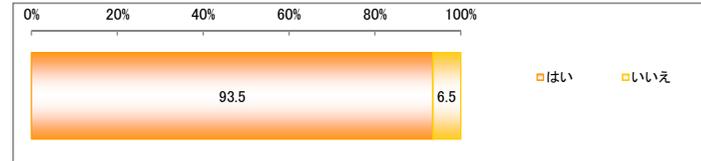


■日常の食料品購入についてお伺いします。

Q4.あなたのお宅で、主に食料品を購入するのはあなたご自身ですか。

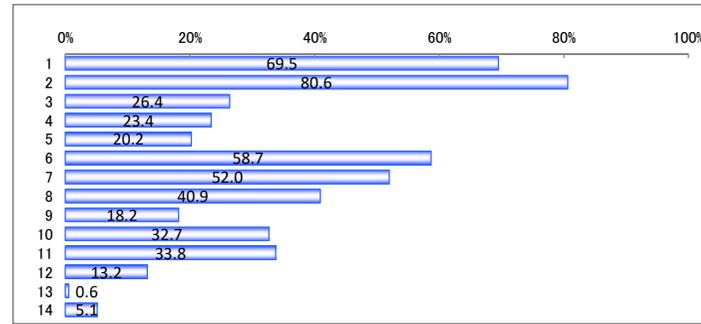
SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 はい	1870	93.5
2 いいえ	130	6.5



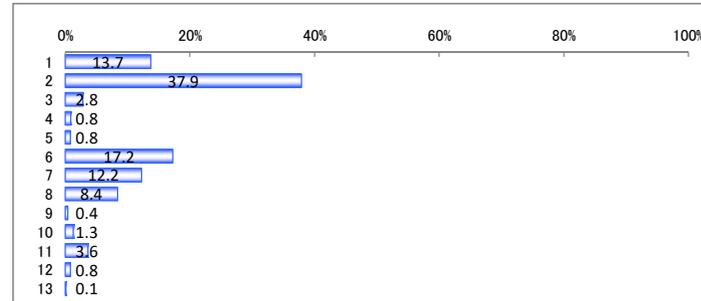
■単純集計表(n%表)
 Q5.では、下記の中から、最近、食料品を購入する際に、関心のあることを全てお選びください。(いくつでも)
 MA

	n	%
全体	2000	100.0
1 賞味期限／品質保持期限／消費期限	1390	69.5
2 値段	1612	80.6
3 栄養成分やその効果	527	26.4
4 遺伝子組換え食品	468	23.4
5 無農薬・減農薬	404	20.2
6 国産品か輸入品か	1174	58.7
7 原産地・生産地	1040	52.0
8 添加物(保存料・着色料等)	818	40.9
9 天然モノか養殖モノか	363	18.2
10 メーカー名	653	32.7
11 原材料	675	33.8
12 オーガニック(有機)	263	13.2
13 その他:	11	0.6
14 1つもない	102	5.1



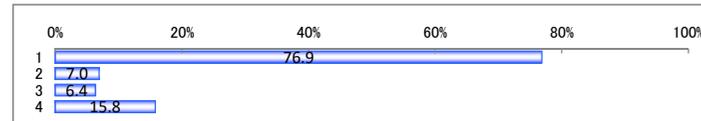
Q6.そのうちで、最も関心のあることはどれですか。1つだけを選びください。
 SA

	n	%
全体	1898	100.0
1 賞味期限／品質保持期限／消費期限	260	13.7
2 値段	719	37.9
3 栄養成分やその効果	53	2.8
4 遺伝子組換え食品	16	0.8
5 無農薬・減農薬	15	0.8
6 国産品か輸入品か	327	17.2
7 原産地・生産地	232	12.2
8 添加物(保存料・着色料等)	159	8.4
9 天然モノか養殖モノか	7	0.4
10 メーカー名	24	1.3
11 原材料	69	3.6
12 オーガニック(有機)	15	0.8
13 その他:(FA)	2	0.1



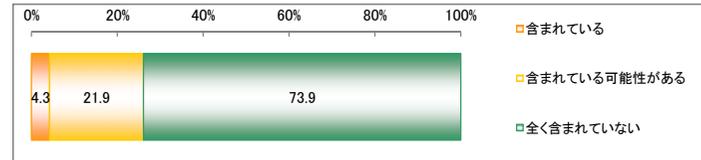
■遺伝子組換え食品の表示についてお伺いします。
 Q7.目にしたことがある遺伝子組換えの食品表示(ラベル)をお答えください。(いくつでも)
 MA

	n	%
全体	2000	100.0
1 遺伝子組換えでない	1537	76.9
2 遺伝子組換え不分別	139	7.0
3 ひとつも目にしたことがない	127	6.4
4 分からない	316	15.8



Q8.「遺伝子組換えでない」という表示をどのように理解していますか。
 SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 含まれている	85	4.3
2 含まれている可能性がある	437	21.9
3 全く含まれていない	1478	73.9

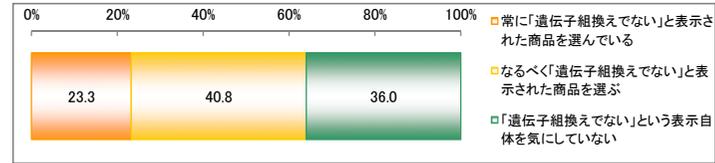


■単純集計表(n%表)

Q9.「遺伝子組換えでない」という表示をどの程度選ぶ基準にしていますか。

SA

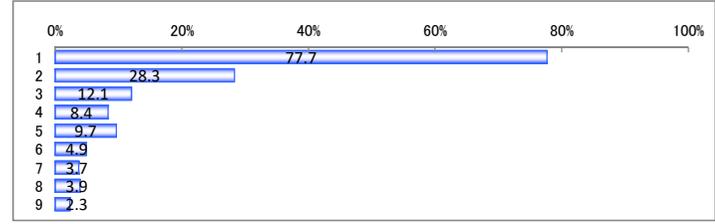
	n	%
全体	2000	100.0
1 常に「遺伝子組換えでない」と表示された商品を選んでいる	465	23.3
2 なるべく「遺伝子組換えでない」と表示された商品を選ぶ	815	40.8
3 「遺伝子組換えでない」という表示自体を気にしていない	720	36.0



Q10.「遺伝子組換えでない」と表示されている商品について、なにも記載のないものに比べて、どのように理解していますか。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	2000	100.0
1 安全性が高い	1553	77.7
2 品質が良い	566	28.3
3 昔から食べている	241	12.1
4 環境にやさしい	167	8.4
5 手間がかかっている	193	9.7
6 有名メーカーが扱っている	98	4.9
7 味が良い	74	3.7
8 栄養価が高い	78	3.9
9 その他:	46	2.3

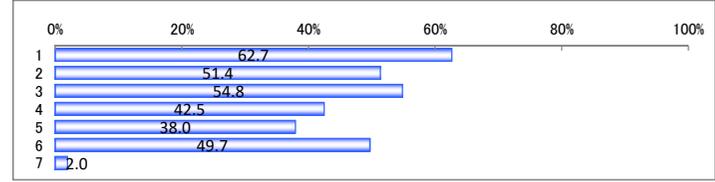


■下記は遺伝子組換え食品の表示制度についての説明です。よくお読みの上、質問にお答えください。

Q11.あなたが初めて知った遺伝子組換え食品の表示ルールは何ですか。※この質問は「30秒以上」経過しないと次に進めません。※[画像を拡大]をクリックしていただくと拡大してご覧いただけます。

MA

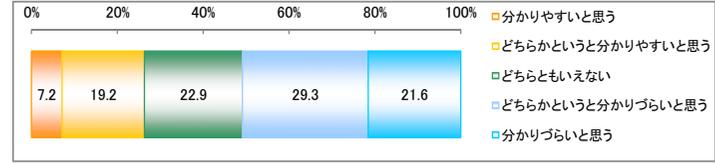
	n	%
全体	2000	100.0
1 遺伝子組換え農作物が5%以下なら「遺伝子組換えでない」と表示してよい	1253	62.7
2 遺伝子組換え農作物が主原材料でない場合は表示しなくてよい	1027	51.4
3 油・しょうゆなどの非表示対象品目食品は表示しなくてよい	1096	54.8
4 「遺伝子組換え使用」表示は義務である	849	42.5
5 「遺伝子組換え不分別」表示は義務である	759	38.0
6 「遺伝子組換えでない」表示は任意である	994	49.7
7 元々全部知っていた	39	2.0



Q12.遺伝子組換え食品に関する表示ルールを、わかりやすいと思いますか。

SA

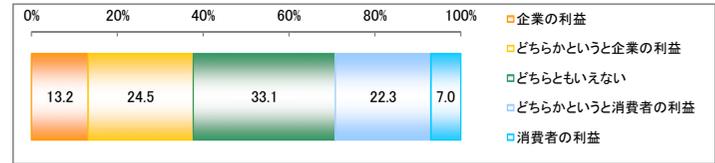
	n	%
全体	2000	100.0
1 分かりやすいと思う	143	7.2
2 どちらかというと分かりやすいと思う	383	19.2
3 どちらともいえない	457	22.9
4 どちらかというと分かりづらいと思う	586	29.3
5 分かりづらいと思う	431	21.6



Q13.「遺伝子組換えでない」という表示は、企業と消費者どちらの利益に貢献すると思いますか。

SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 企業の利益	264	13.2
2 どちらかという企業の利益	490	24.5
3 どちらともいえない	662	33.1
4 どちらかという消費者の利益	445	22.3
5 消費者の利益	139	7.0

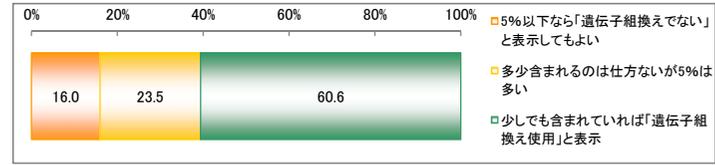


■単純集計表(n%表)

Q14.現在の「遺伝子組換えでない」という表示について、あなたの考えに近いものは何ですか。

SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 5%以下なら「遺伝子組換えでない」と表示してもよい	319	16.0
2 多少含まれるのは仕方ないが5%が多い	469	23.5
3 少しでも含まれていれば「遺伝子組換え使用」と表示	1212	60.6

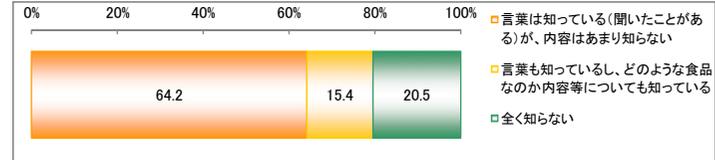


■遺伝子組換え食品についてお伺いします。注:「遺伝子組換え食品」とは、遺伝子組換え技術を利用して品種改良を行った農作物及び農作物を原料とした加工食品のことをいいます。

Q15.あなたは「遺伝子組換え食品」をご存知ですか。

SA

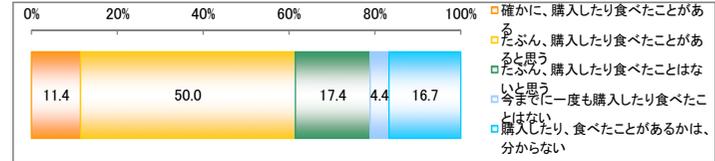
	n	%
全体	2000	100.0
1 言葉は知っている(聞いたことがある)が、内容はあまり知らない	1283	64.2
2 言葉も知っているし、どのような食品なのか内容等についても知っている	308	15.4
3 全く知らない	409	20.5



Q16.あなたは、遺伝子組換え食品や、遺伝子組換え原料の含まれる食品を購入したり食べたことがありますか。

SA

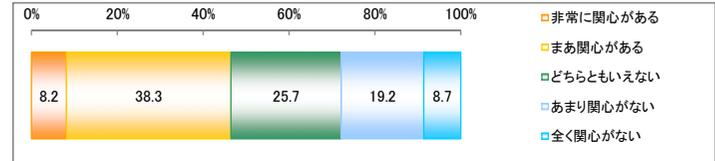
	n	%
全体	1591	100.0
1 確かに、購入したり食べたことがある	182	11.4
2 たぶん、購入したり食べたことがあると思う	796	50.0
3 たぶん、購入したり食べたことはないと思う	277	17.4
4 今までに一度も購入したり食べたことはない	70	4.4
5 購入したり、食べたことがあるかは、分からない	266	16.7



Q17.あなたは「遺伝子組換え食品」にどの程度関心がありますか。

SA

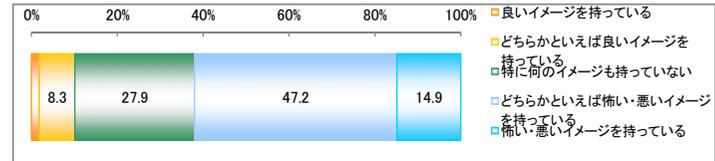
	n	%
全体	2000	100.0
1 非常に関心がある	163	8.2
2 まあ関心がある	766	38.3
3 どちらともいえない	514	25.7
4 あまり関心がない	384	19.2
5 全く関心がない	173	8.7



Q18.あなたご自身は現在「遺伝子組換え食品」についてどのようなイメージを持っていますか。先の設問で「全く知らない」と答えた方は、「遺伝子組換え食品」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか。

SA

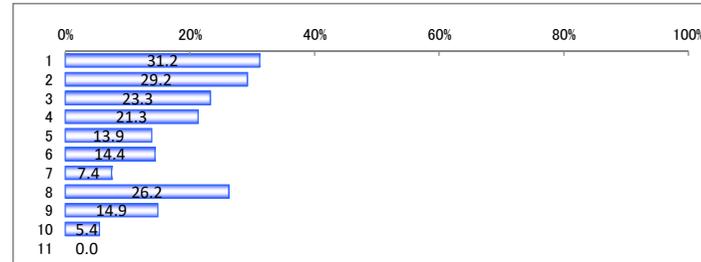
	n	%
全体	2000	100.0
1 良いイメージを持っている	37	1.9
2 どちらかといえば良いイメージを持っている	165	8.3
3 特に何のイメージも持っていない	558	27.9
4 どちらかといえば怖い・悪いイメージを持っている	943	47.2
5 怖い・悪いイメージを持っている	297	14.9



■単純集計表(n%表)

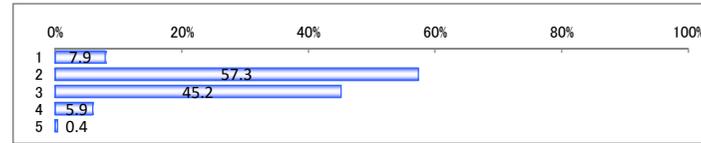
Q18-1. ■前問で「良いイメージを持っている」「どちらかといえば良いイメージを持っている」とお答えの方にお伺いします ■そうしたイメージを持つようになった理由はどのようなことですか。以下より該当するものをお選びください。(いくつでも) MA

	n	%
全体	202	100.0
1 害虫や病害に強い品種や、やせた土地などの厳しい環境下でも育つ品種を作ることができ、安定した収穫量が得られるので	63	31.2
2 新しい技術なので期待感を持っているから	59	29.2
3 ビタミンや鉄分等の栄養成分を強化できるので	47	23.3
4 食物アレルギーのある人でも食べられそうなので	43	21.3
5 健康管理に役立つ食品(糖尿病など食事制限が必要な人でも食べられる食品や、特定の疾病の症状緩和に効果のある食品など)	28	13.9
6 農薬の散布回数を減らせるので	29	14.4
7 更においしくなっていると思うので	15	7.4
8 国が安全性を担保していると思うので	53	26.2
9 日本においても多く利用され、役立っていると思うので	30	14.9
10 従来の品種改良技術と変わらないので	11	5.4
11 その他:	0	0.0



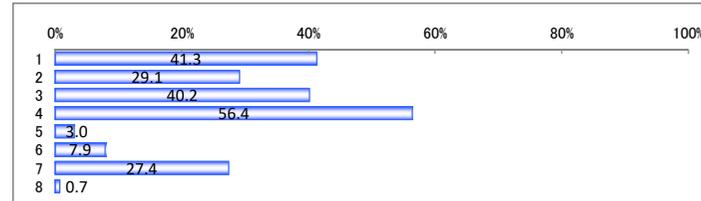
Q18-2. ■前問で「特に何のイメージも持っていない」とお答えの方にお伺いします ■何のイメージも持っていない理由はどのようなことですか。以下より該当するものをお選びください。(いくつでも) MA

	n	%
全体	558	100.0
1 身近に「遺伝子組換え食品」がないので	44	7.9
2 よく知らない/情報が不足している	320	57.3
3 関心がない	252	45.2
4 世の中に出回っている「遺伝子組換え食品」の情報を信用していない	33	5.9
5 その他:	2	0.4



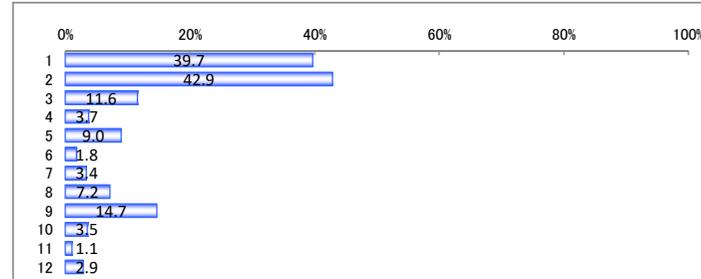
Q18-3. ■前問で「どちらかといえば怖い・悪いイメージを持っている」「怖い・悪いイメージを持っている」とお答えの方にお伺いします ■そうしたイメージを持つようになった理由はどのようなことですか。以下より該当するものをお選びください。(いくつでも) MA

	n	%
全体	1240	100.0
1 よく知らない/情報が不足しているから	512	41.3
2 わざわざ「使用していない」と商品に表示されているから	361	29.1
3 健康や環境などへの影響に不安があるから	498	40.2
4 自然なものではない/人工的なものへの嫌悪感から	699	56.4
5 反対している団体等がいるから	37	3.0
6 メディア(テレビ、新聞、雑誌等)の情報を見たから	98	7.9
7 「遺伝子組換え」という言葉の持つイメージから	340	27.4
8 その他:	9	0.7



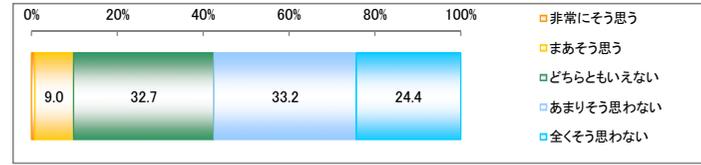
Q19. 「遺伝子組換え食品」について、そのようなイメージを持つ要因になった情報源は何ですか。情報の入手先(誰から、何から、どこから知ったか)について該当するものをお選びください。(いくつでも) MA

	n	%
全体	2000	100.0
1 「遺伝子組換えでない」という商品表示	794	39.7
2 テレビ(ニュース、番組、CM)	857	42.9
3 新聞・雑誌	231	11.6
4 書籍	74	3.7
5 友人・知人や家族	179	9.0
6 セミナー・イベント・シンポジウム等	36	1.8
7 消費者団体	67	3.4
8 店頭のPOP広告・チラシ	143	7.2
9 インターネット上の情報(ニュースサイト・ブログ・Webサイトなど)	294	14.7
10 SNS(Facebook・Twitterなど)	70	3.5
11 映画・動画	21	1.1
12 その他:	57	2.9



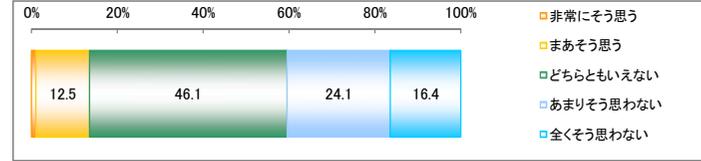
■単純集計表(n%表)
 Q20.「遺伝子組換え食品」がスーパー等で販売されていたら、買って利用してみたいと思いますか。
 SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 非常にそう思う	16	0.8
2 まあそう思う	180	9.0
3 どちらともいえない	654	32.7
4 あまりそう思わない	663	33.2
5 全くそう思わない	487	24.4



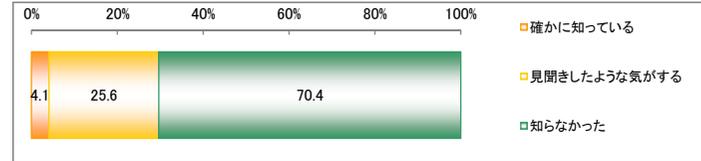
Q21.現在、あなたは「遺伝子組換え食品」を必要なものだと思いますか。
 SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 非常にそう思う	21	1.1
2 まあそう思う	249	12.5
3 どちらともいえない	921	46.1
4 あまりそう思わない	481	24.1
5 全くそう思わない	328	16.4



Q22.上記にあげたような遺伝子組換え食品の「特徴」を知った上で、再度伺います。あなたはこれらの「遺伝子組換え食品」の「特徴」をご存知でしたか。※この設問は「30秒以上」経過しないと次に進めません。
 SA

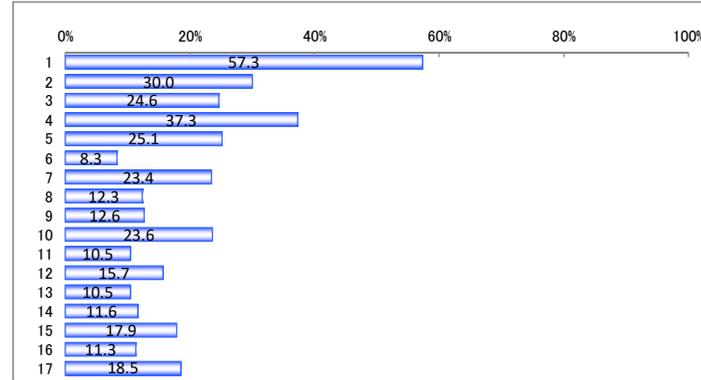
	n	%
全体	2000	100.0
1 確かに知っている	81	4.1
2 見聞きしたような気がする	512	25.6
3 知らなかった	1407	70.4



■以下の「遺伝子組換え食品」の特徴をよくお読みになった上で、各質問にお答えください。<遺伝子組換え食品とは>(1)生物の機能を利用した技術(バイオテクノロジー)の1つである、遺伝子組換え技術を活用して「品種改良」した農作物、及び農作物を原料とした加工食品のことです。<遺伝子組換え技術とは>親から子へと遺伝する、または細胞から細胞へと伝えられる形質(遺伝情報)を決定する因子を「遺伝子」といい、DNAという物質でできています。(2)DNAは全ての細胞の中に存在し、私たちは毎日食事をすることによって、食品の中の遺伝子を体内に取り入れています。また、(3)動・植物などほとんどすべての生物が同じ成分で構成されている(=全ての生物が同じ仕組みで遺伝情報を決定している)ことを利用して、ある生物の有益な遺伝子を他の生物に組み込む技術を「遺伝子組換え技術」と呼びます。この技術によって、(4)ある生物が持つ遺伝子のうち、有益な部分だけを別の生物につけ加えたり、害のある遺伝子をとり除いたりできるようになりました。つまり、これまでの技術では、稲ならば稲の持つ遺伝情報しか利用できなかったのが、(5)あらゆる生物の遺伝子を利用できるようになったことにより、品種改良の可能性の幅が広がりました。<遺伝子組換え食品の安全性>現在、(6)世界28カ国で「遺伝子組換え作物」の商業栽培が行われていて、(7)国際機関で定められたルールに基づき、日本には、主に「大豆」「トウモロコシ」「菜種」「綿」の4作物が輸入されています。「遺伝子組換え作物/食品」は、新しい技術を活用しているため、(8)各分野の専門家が参画する、国際基準に基づく国の審査が義務付けられていて、これらの審査において安全性が確認され、政府に認可されたものだけが市場に流通します。また、安全性は国際基準に基づいていて、(9)これまで安全に食べてきた現在の作物・食品を基準にして、遺伝子組換え作物の安全性が評価(同じくらいに安全である)されています。<遺伝子組換え作物の例>「遺伝子組換え作物」の代表例として、「害虫抵抗性作物」があります。特定の害虫の消化管はアルカリ性のため、あるたんぱく質を消化できません。(10)このたんぱく質の遺伝子を農作物に導入することによって、目的とした害虫から受ける被害がなくなりました。この「害虫抵抗性作物」は(11)人間など哺乳類の体内に入っても、胃が酸性であることから、無害で消化・排出されます。<今後の可能性～開発が期待されている世界の例～>世界では、(12)健康問題を解決する手段として「遺伝子組換え農作物」の開発が進んでいます。(13)ビタミンA不足を補うための「ビタミンAの素となるβカロテンを多く含む米」、(14)悪玉コレステロールを下げる働きをするオレイン酸を多く含む大豆などです。<今後の可能性～開発が期待されている日本の例～>日本でも、(15)生活習慣病の予防や治療に効果のある食品の開発が進められ、「スギ花粉症に効果のある米」では、医薬品としての実用化に向け、臨床試験が進められています。また、環境保護の観点から、(16)植物を使って、土壌を汚染する重金属などを浄化する研究も進められています。このように、環境保護や食糧問題の解決など人々の健康な暮らしに役立てることを目指して、消費者にとってメリットのある技術の研究が日々進められています。

Q22-1.説明文中の(1)～(16)のうち、知って(見聞きして)いた情報はどれですか。(いくつでも)※この中に入らない方は、選択肢「この中にはない」をお選びください。
 MA

	n	%
全体	593	100.0
1 (1)生物の機能を利用した技術(バイオテクノロジー)の1つである、遺伝子組換え技術を活用して「品	340	57.3
2 (2)DNAは全ての細胞の中に存在し、私たちは毎日食事をするによって、食品の中の遺伝子を体	178	30.0
3 (3)動・植物などほとんど全ての生物が同じ成分で構成されている(=全ての生物が同じ仕組みで遺	146	24.6
4 (4)この技術によって、ある生物が持つ遺伝子のうち、有益な部分だけを別の生物につけ加えたり、害	221	37.3
5 (5)つまり、これまでの技術では、稲ならば稲の持つ遺伝情報しか利用できなかったのが、あらゆる生	149	25.1
6 (6)世界28カ国で「遺伝子組換え作物」の商業栽培が行われていて、	49	8.3
7 (7)国際機関で定められたルールに基づき、日本には、主に「大豆」「トウモロコシ」「菜種」「綿」の4作物	139	23.4
8 (8)「遺伝子組換え作物/食品」は、新しい技術を活用しているため、各分野の専門家が参画する、	73	12.3
9 (9)また、安全性は国際基準に基づいていて、これまで安全に食べてきた現在の作物・食品を基準に	75	12.6
10 「遺伝子組換え作物」の代表例として、「害虫抵抗性作物」があります。特定の害虫の消化管は、アル	140	23.6
11 (11)この「害虫抵抗性作物」は、人間など哺乳類の体内に入っても、胃が酸性であることから、無害で	62	10.5
12 (12)世界では、健康問題を解決する手段として「遺伝子組換え農作物」の開発が進んでいます。	93	15.7
13 (13)ビタミンA不足を補うための「ビタミンAの素となるβカロテンを多く含む米」、	62	10.5
14 (14)悪玉コレステロールを下げる働きをするオレイン酸を多く含む大豆などです。	69	11.6
15 (15)日本でも、生活習慣病の予防や治療に効果のある食品の開発が進められ、「スギ花粉症に効果	106	17.9
16 (16)また、環境保護の観点から、植物を使って、土壌を汚染する重金属などを浄化する研究も進めら	67	11.3
17 この中にはない	110	18.5

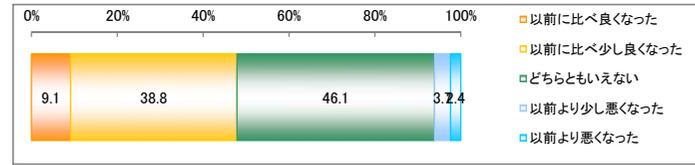


■単純集計表(n%表)

Q23.これらの特徴を知って、あなたの「遺伝子組換え食品」に対するイメージやお考えは変化しましたか。

SA

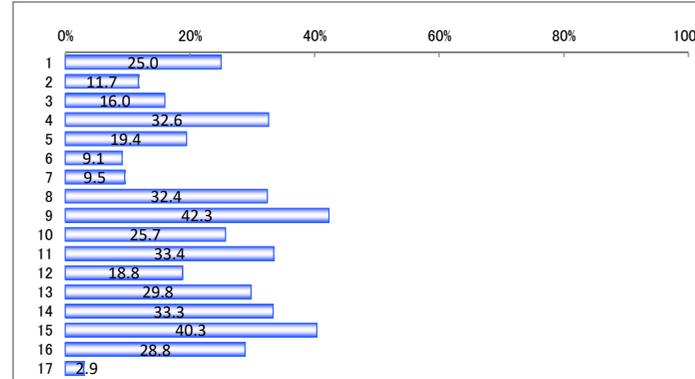
	n	%
全体	2000	100.0
1 以前に比べ良くなった	182	9.1
2 以前に比べ少し良くなった	775	38.8
3 どちらともいえない	921	46.1
4 以前より少し悪くなった	74	3.7
5 以前より悪くなった	48	2.4



Q23-1.イメージが良くなるきっかけとなった情報はどれですか。(いくつでも)※この中に入らない方は、選択肢「この中に入らない」をお選びください。

MA

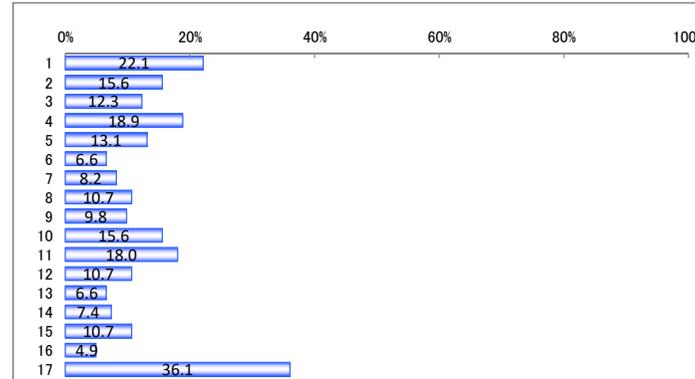
	n	%
全体	957	100.0
1 (1)生物の機能を利用した技術(バイオテクノロジー)の1つである、遺伝子組換え技術を活用して「品	239	25.0
2 (2)DNAは全ての細胞の中に存在し、私たちは毎日食事をすることによって、食品の中の遺伝子を体	112	11.7
3 (3)動・植物などほとんど全ての生物が同じ成分で構成されている(=全ての生物が同じ仕組みで遺	153	16.0
4 (4)この技術によって、ある生物が持つ遺伝子のうち、有益な部分だけを別の生物につけ加えたり、害	312	32.6
5 (5)つまり、これまでの技術では、稲ならば稲の持つ遺伝情報しか利用できなかったのが、あらゆる生	186	19.4
6 (6)世界28 カ国で「遺伝子組換え作物」の商業栽培が行われていて、	87	9.1
7 (7)国際機関で定められたルールに基づき、日本には、主に「大豆」「トウモロコシ」「菜種」「綿」の4作物	91	9.5
8 (8)「遺伝子組換え作物/食品」は、新しい技術を活用しているため、各分野の 専門家が参画する、	310	32.4
9 (9)また、安全性は国際基準に基づいていて、これまで安全に食べてきた現在の作物・食品を基準に	405	42.3
10 「遺伝子組換え作物」の代表例として、「害虫抵抗性作物」があります。特定の害虫の消化管は アルブ	246	25.7
11 (11)この「害虫抵抗性作物」は、人間など哺乳類の体内に入っても、胃が酸性であることから、無害で	320	33.4
12 (12)世界では、健康問題を解決する手段として「遺伝子組換え農作物」の開発が進んでいます。	180	18.8
13 (13)ビタミンA不足を補うための「ビタミンAの素となるβカロテンを多く含む米」、	285	29.8
14 (14)悪玉コレステロールを下げる働きをするオレイン酸を多く含む大豆などです。	319	33.3
15 (15)日本でも、生活習慣病の予防や治療に効果のある食品の開発が進められ、「スギ花粉症に効果	386	40.3
16 (16)また、環境保護の観点から、植物を使って、土壌を汚染する重金属などを浄化する研究も進めら	276	28.8
17 この中に入らない	28	2.9



Q23-2.イメージが悪くなるきっかけとなった情報はどれですか。(いくつでも)※この中に入らない方は、選択肢「この中に入らない」をお選びください。

MA

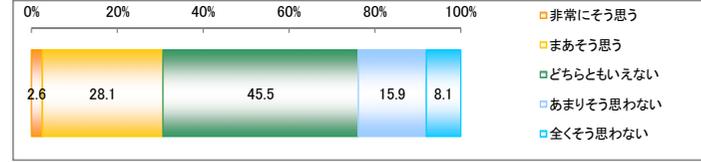
	n	%
全体	122	100.0
1 (1)生物の機能を利用した技術(バイオテクノロジー)の1つである、遺伝子組換え技術を活用して「品	27	22.1
2 (2)DNAは全ての細胞の中に存在し、私たちは毎日食事をすることによって、食品の中の遺伝子を体	19	15.6
3 (3)動・植物などほとんど全ての生物が同じ成分で構成されている(=全ての生物が同じ仕組みで遺	15	12.3
4 (4)この技術によって、ある生物が持つ遺伝子のうち、有益な部分だけを別の生物につけ加えたり、害	23	18.9
5 (5)つまり、これまでの技術では、稲ならば稲の持つ遺伝情報しか利用できなかったのが、あらゆる生	16	13.1
6 (6)世界28 カ国で「遺伝子組換え作物」の商業栽培が行われていて、	8	6.6
7 (7)国際機関で定められたルールに基づき、日本には、主に「大豆」「トウモロコシ」「菜種」「綿」の4作物	10	8.2
8 (8)「遺伝子組換え作物/食品」は、新しい技術を活用しているため、各分野の 専門家が参画する、	13	10.7
9 (9)また、安全性は国際基準に基づいていて、これまで安全に食べてきた現在の作物・食品を基準に	12	9.8
10 「遺伝子組換え作物」の代表例として、「害虫抵抗性作物」があります。特定の害虫の消化管は アルブ	19	15.6
11 (11)この「害虫抵抗性作物」は、人間など哺乳類の体内に入っても、胃が酸性であることから、無害で	22	18.0
12 (12)世界では、健康問題を解決する手段として「遺伝子組換え農作物」の開発が進んでいます。	13	10.7
13 (13)ビタミンA不足を補うための「ビタミンAの素となるβカロテンを多く含む米」、	8	6.6
14 (14)悪玉コレステロールを下げる働きをするオレイン酸を多く含む大豆などです。	9	7.4
15 (15)日本でも、生活習慣病の予防や治療に効果のある食品の開発が進められ、「スギ花粉症に効果	13	10.7
16 (16)また、環境保護の観点から、植物を使って、土壌を汚染する重金属などを浄化する研究も進めら	6	4.9
17 この中に入らない	44	36.1



■単純集計表(n%表)

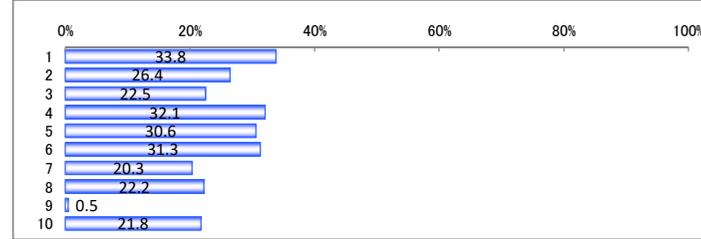
Q24.これらの特徴を知って、「遺伝子組換え食品」がスーパー等で販売されていたら、買って利用してみたいと思いますか。
SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 非常にそう思う	51	2.6
2 まあそう思う	562	28.1
3 どちらともいえない	909	45.5
4 あまりそう思わない	317	15.9
5 全くそう思わない	161	8.1



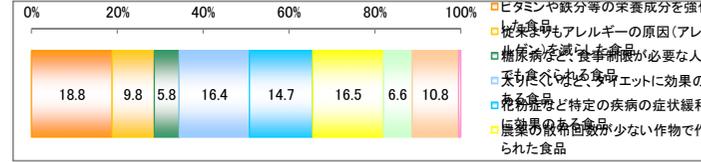
Q25.では、どのような遺伝子組換え食品であれば、買って利用してみたいと思いますか。(いくつでも)
MA

	n	%
全体	2000	100.0
1 ビタミンや鉄分等の栄養成分を強化した食品	676	33.8
2 従来よりもアレルギーの原因(アレルゲン)を減らした食品	528	26.4
3 糖尿病など、食事制限が必要な人でも食べられる食品	450	22.5
4 太りにくいなど、ダイエットに効果のある食品	641	32.1
5 花粉症など特定の疾病の症状緩和に効果のある食品	611	30.6
6 農薬の散布回数が少ない作物で作られた食品	626	31.3
7 更に味がおいしくなっている食品	406	20.3
8 低価格の食品	444	22.2
9 その他:	9	0.5
10 1つもあてはまらない	435	21.8



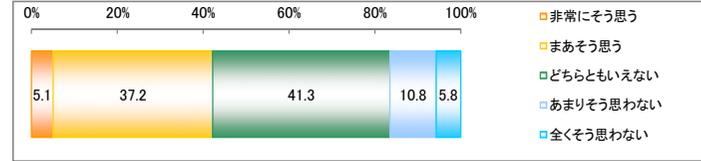
Q25-1.前問で選びの食品のうち、最も買って利用してみたいと思う遺伝子組換え食品を1つお答えください。
SA

	n	%
全体	1565	100.0
1 ビタミンや鉄分等の栄養成分を強化した食品	294	18.8
2 従来よりもアレルギーの原因(アレルゲン)を減らした食品	154	9.8
3 糖尿病など、食事制限が必要な人でも食べられる食品	91	5.8
4 太りにくいなど、ダイエットに効果のある食品	256	16.4
5 花粉症など特定の疾病の症状緩和に効果のある食品	230	14.7
6 農薬の散布回数が少ない作物で作られた食品	259	16.5
7 更に味がおいしくなっている食品	104	6.6
8 低価格の食品	169	10.8
9 その他:(FA)	8	0.5



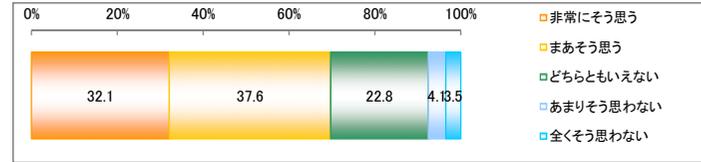
Q26.これらの特徴を知って、あなたは「遺伝子組換え食品」は必要なものだと思いますか。
SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 非常にそう思う	101	5.1
2 まあそう思う	743	37.2
3 どちらともいえない	826	41.3
4 あまりそう思わない	215	10.8
5 全くそう思わない	115	5.8



Q27.あなたは「遺伝子組換え食品」についての情報は今後も必要だと思いますか。
SA

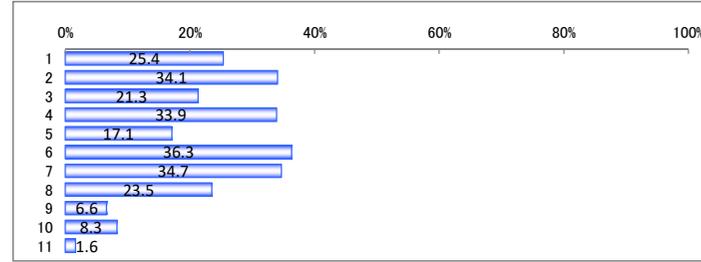
	n	%
全体	2000	100.0
1 非常にそう思う	642	32.1
2 まあそう思う	752	37.6
3 どちらともいえない	455	22.8
4 あまりそう思わない	81	4.1
5 全くそう思わない	70	3.5



■単純集計表(n%表)

Q28.では、「遺伝子組換え食品」の情報に関して、あなたにとって信頼性の高い情報発信元はどこ(誰)ですか。(いくつでも) MA

	n	%
全体	2000	100.0
1 スーパー等の小売店	507	25.4
2 食品メーカー	681	34.1
3 消費者団体	426	21.3
4 大学などの学問研究機関	678	33.9
5 自治体などの公共機関	342	17.1
6 厚生労働省	726	36.3
7 農林水産省	693	34.7
8 バイオテクノロジー・遺伝子組換え食品についての専門団体	470	23.5
9 マスコミなどで出てくる有名人	132	6.6
10 友人・知人や家族	166	8.3
11 その他	32	1.6

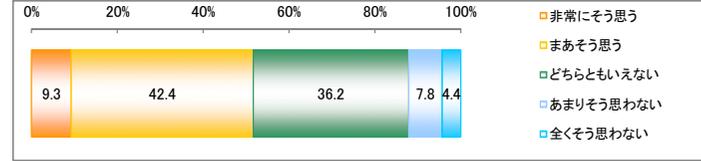


■以下の説明は、海外での利用状況です。お読みになった上で、お答えください。遺伝子組換え農作物によって、食糧・飼料・繊維作物の収穫量が上がり、生産者の収入が増えました。■作物の収量:22%増加、生産者の正味利益:68%増※2014年調べ/1995年との比較結果・また、害虫に強い農作物などの遺伝子組換え作物を植えることで、農薬の使用量が大幅に減りました。・遺伝子組換え作物の1つである「除草剤耐性作物」は除草剤の影響を受けないことから、効果的に雑草の除去ができ、雑草を除く目的で行う「耕作」を省略できます。(=「不耕起栽培」)※注)「不耕起栽培」とは・・・畑を耕すと、雨や風で土が流れやすくなり、土が河川に流出します。そのため土の養分や水分も流れてしまい、土地がやせて作物がうまく育たなくなります。また、畑の土が河川に流れ出ることによって、水質汚染に結びついたりすることがあり、畑を耕さない「不耕起栽培」は、土の養分や水分を守り、周囲の環境にもやさしい栽培方法とされています。・米国の穀物収量は、4作期連続での「不耕起栽培」により、32%増加しました。・カナダの農家の80%以上が除草剤耐性作物で不耕起栽培を行い、土壌水分の保持や土壌流出の減少を確認しました。

Q29.あなたは、今後日本でも、農業や経済に貢献するような「遺伝子組換え作物」の開発が必要だと思いますか。※この設問は「30秒以上」経過しないと次に進めません。

SA

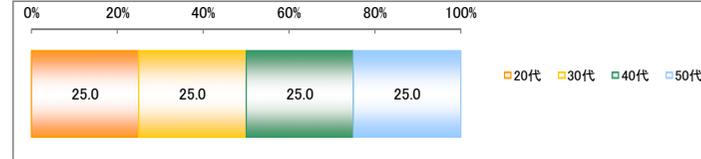
	n	%
全体	2000	100.0
1 非常にそう思う	186	9.3
2 まあそう思う	847	42.4
3 どちらともいえない	724	36.2
4 あまりそう思わない	156	7.8
5 全くそう思わない	87	4.4



割付

SA

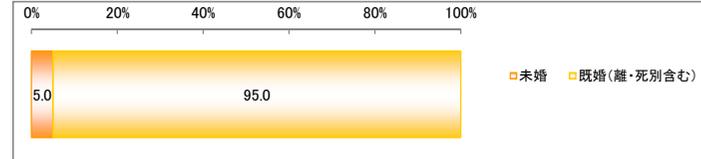
	n	%
全体	2000	100.0
1 20代	500	25.0
2 30代	500	25.0
3 40代	500	25.0
4 50代	500	25.0



未既婚

SA

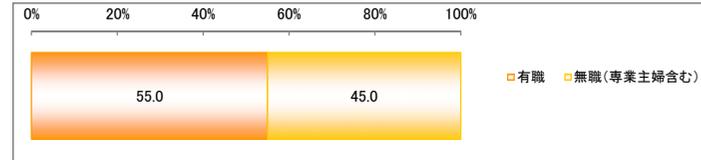
	n	%
全体	2000	100.0
1 未婚	100	5.0
2 既婚(離・死別含む)	1900	95.0



職種

SA

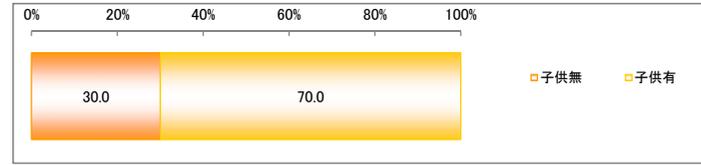
	n	%
全体	2000	100.0
1 有職	1100	55.0
2 無職(専業主婦含む)	900	45.0



■単純集計表(n%表)

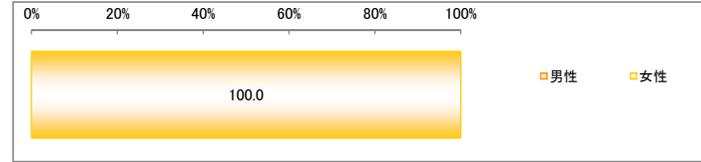
子供
SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 子供無	600	30.0
2 子供有	1400	70.0



性別
SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 男性	0	0.0
2 女性	2000	100.0



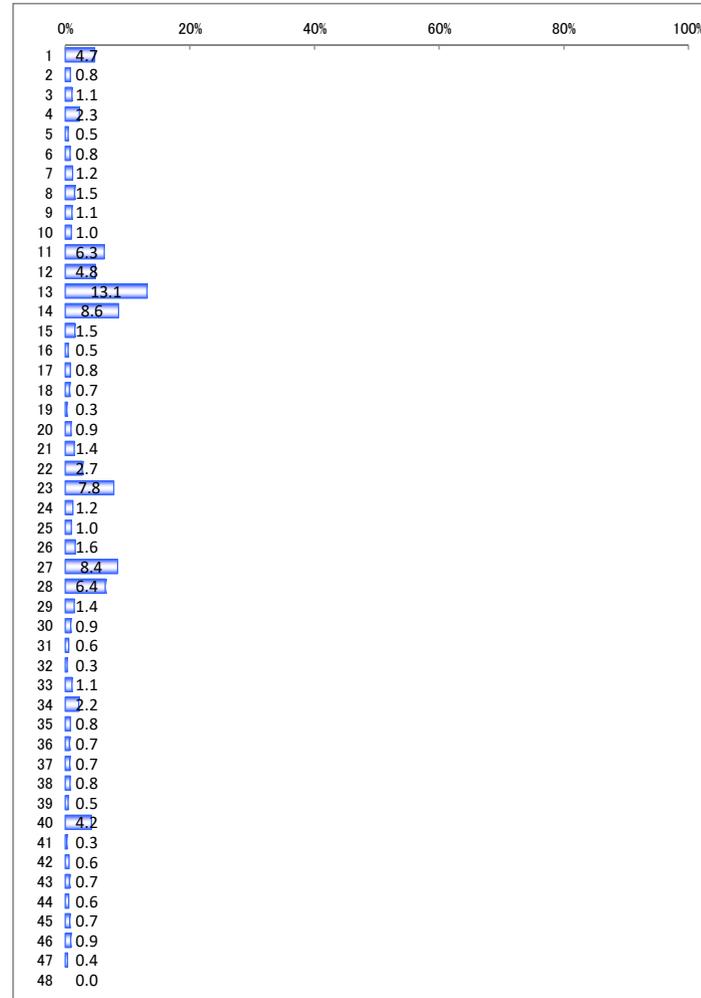
年齢
歳

	値
全体	2000
平均値	39.99
最小値	20.00
最大値	59.00

■単純集計表(n%表)

都道府県
SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 北海道	94	4.7
2 青森県	16	0.8
3 岩手県	21	1.1
4 宮城県	45	2.3
5 秋田県	9	0.5
6 山形県	15	0.8
7 福島県	23	1.2
8 茨城県	29	1.5
9 栃木県	21	1.1
10 群馬県	19	1.0
11 埼玉県	125	6.3
12 千葉県	96	4.8
13 東京都	262	13.1
14 神奈川県	171	8.6
15 新潟県	30	1.5
16 富山県	9	0.5
17 石川県	16	0.8
18 福井県	13	0.7
19 山梨県	5	0.3
20 長野県	18	0.9
21 岐阜県	28	1.4
22 静岡県	54	2.7
23 愛知県	155	7.8
24 三重県	24	1.2
25 滋賀県	19	1.0
26 京都府	31	1.6
27 大阪府	168	8.4
28 兵庫県	128	6.4
29 奈良県	28	1.4
30 和歌山県	17	0.9
31 鳥取県	11	0.6
32 島根県	6	0.3
33 岡山県	21	1.1
34 広島県	43	2.2
35 山口県	16	0.8
36 徳島県	13	0.7
37 香川県	14	0.7
38 愛媛県	15	0.8
39 高知県	9	0.5
40 福岡県	84	4.2
41 佐賀県	5	0.3
42 長崎県	12	0.6
43 熊本県	13	0.7
44 大分県	11	0.6
45 宮崎県	14	0.7
46 鹿児島県	17	0.9
47 沖縄県	7	0.4
48 海外	0	0.0



遺伝子組換え食品のイメージ
SA

	n	%
全体	2000	100.0
1 良い(どちらかといえば良い)イメージを持っている	202	10.1
2 特に何のイメージも持っていない	558	27.9
3 怖い・悪い(どちらかといえば怖い・悪い)イメージを持っている	1240	62.0

